■ 泉丘SSHだより 〒 (

石川県立金沢泉丘高等学校

第10号 H16.12.22 編 集: SSH推建室 発責: 上田政憲

平成16年度**金沢泉丘SSH研究発表会**

of Charles of Charles of Charles of Charles



が開催されました

SSH指定2年目の研究発表会が12月16日(木)に開催され、県内外からたくさんの方が視察に来校されました。

また、第2回オープンスクール泉丘も同時に開催され、保護者の方も多数来校し、授業に望む生徒たちの様子を熱心に見ておられました。

研究発表会日程

DUDUCATIE			
	オープンスクール泉丘	金沢泉丘SSH研究発表会	
時 限	普通科1・2年	理数科1年	理数科 2 年
2 限 9:25~10:15	公開授業	SSH研究授業 「理数数学 」	SSH研究授業
3 限 10:25~11:15	公開授業	S S H研究授業 「人間科学」	「コスモサイエンス 」
4 限 11:25~12:15		全体協議会	
昼食			
5 限 13:00~13:50		SSH研究授業「AIプロジェクト発表会」	
6 限 14:00~14:50			

研究思言「理数数学)。



今まで学習してきた知識を活かし、与えられた問題を生徒たちが数名のグループで解き発表するという探求授業が行われました。かなりの難問もあったようですが、共同作業で問題を解決し、また新たな課題を見つけ出すなど、「探求」する姿勢を学んでいました。また、ほとんどの生徒が数学の「美しさ」「魅力」を感じ取っていたようです。

研究还是 『人間科学』



『人間は「遺伝子の乗り物」なのか』というテーマについてグループ討論を行い、発表する授業が行われました。

大学教授による特別議義がどを通し感じたことがどを怒ま

大学教授による特別講義などを通し感じたことなどを踏ま えながら、討論し意見を深めていました。

研究授集 「コスモサイエンス Dia

自分たちで作成した簡易吸光光度計やコンピュータを使い、色の変化と電極間の電位差の変化を計測して振動反応の周期を求める化学実験を行いました。

天候に左右される実験であったため、なかなか良いデータが取れないグループもありましたが、試行錯誤しながら実験を行い、どのグループも計測に成功しました。また、そのデータをエクセルを用いグラフ化し考察をおこないました。



A I JOYZ9 LAGS

4月から行われてきた課題研究の成果を発表しました。 また今年から英語も取り入れられたため、各班とも要約は 英語で発表を行いました。

9ヶ月かけて研究してきた内容を、発表時間11分にまとめるのに苦労していたようですが、どの班の発表も素晴らしく、プレゼンテーション能力の高さがうかがえました



研究協議会

本校のSSH事業の取り組みや 今後のSSHの進め方などの説明

を行いました。参加された先生方から貴重なご意見を頂きました。時間が短く、研究授業についての討議があまりできなかったのが残念でした。



アンケート

研究発表会に参加して頂いた先生方にアンケートをお願いし、今回の研究発表会について貴重なご意見を頂きました。 【研究授業・公開授業に参加して】

生徒が主体的に、また深く調べられていたので、 とてもモチベーションが高いと思った。 生徒の前向きさと先生方の熱意が加わり、大変

良い授業でした。
授業展開がとても工夫されていて、私も勉強さ

授業展開がとても工夫されていて、私も勉強さ せてもらいました。人間科学の授業、内容が最 新でいいと思います。

どこの学校も取り組みの企画運営に苦労されて いることがよくわかりました。

大学の卒論発表とまではいかないが、高校の授業の枠を超えて調べていたので素晴らしかった。 実験結果を分析・整理する方法、および考察に は不十分な点が見られるが、子供たちにとって あまり参考 にならな かった 5% 20他 0% その他 0% とで参考に なった なった なった 40%

は、様々な体験が出来たことが、最も意味あることなのだと感じました。発表の場をいかに多く提供できるかを考えていくのは、頭痛の種となりますが、やはり努力していかねばならないのでしょうね。 日々の継続的な指導が感じられた、楽しい発表でした。

あとがき

2年目の研究発表会が無事終了しました。夢にまででてきた発表会が終了し、ほっとしたのもつかの間。次は今年度の報告書のまとめ作業が冬休み中の宿題となっています。宿題があるのは生徒だけではないようです。昨年度のように、完成間近で書き直しなどということにならないように願っています。